

別紙 3-②

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針 1 地域の実情に応じた持続可能な交通ネットワークの形成

取組案 1 古河駅前広場の環境整備及び交通結節機能（地域拠点）の強化 ※ゲートウェイとしての機能強化

事業の概要

- ・古河市の玄関口としてのふさわしい駅、公共交通の円滑な処理ができる駅前広場として、交通処理の見直しの検討を継続する。
- ・初めて来訪する観光客・工業団地への来訪者等が、スムーズに鉄道からバスに乗り換えができるように、目的地に行くためのバス乗り場案内などの乗り換え情報を提供し、古河駅における交通結節点として強化する。

【取組案】

- 乗り換え情報等の案内表示板の設置
- 朝夕のラッシュ時間帯の混雑整理
- 駅近隣店舗と連携してのバス待ち環境整備
- 市有施設、土地の有効活用 等

取組案 2 地域間幹線系統の維持、利用促進と収益率の改善

事業の概要

- ・沿線人口の減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症感染拡大による生活様式の変化により、公共交通の利用者数は減少傾向にある一方、交通網の整備や自家用の普及などに伴い、日常の生活圏域が拡大し、市町村を跨いだ広域的な移動のニーズは高いことから、持続可能な公共交通の維持に向けては、人口減少や少子高齢化、人々の行動様式の変化に対応した見直しを図ることが重要。
- ・沿線環境の変化への対応を図りつつ、鉄道や広域幹線バスといった広域的な移動を支える公共交通を維持・確保に向けて利用促進に取り組む。

【取組案】

- 積極的な情報発信
- 利用促進広報の展開 等

取組案 3 （仮）南古河駅実現に向けた取組推進

事業の概要

- ・JR東北本線「(仮称)南古河駅」の設置促進を目的にして、昭和58年に期成同盟会を結成し、実現に向けて鋭意取り組んでいる。
- ※令和5年3月27日、JR大宮支社に東北新幹線茨城県新駅設置期成同盟会及び東北本線「(仮称)南古河駅」設置促進期成同盟会による新駅設置の早期実現を求める要望書を提出。
- ・人口の増加、企業等の進出の可能性や古河駅周辺の渋滞解消が期待できる。

【取組案】

- 期成同盟会による鉄道事業者への要望活動
- 地域住民との意見交換会の実施 等



取組案 4 路線バスの再編・充実

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 既存のバス路線は、通勤・通学、私事など日常生活に欠かせない移動手段であり、市内各地と本市の交通結節点である鉄道駅との移動に多く利用されている。• 本市のバス路線のサービス水準を維持、充実するため、公共交通サービスを支える担い手のひとつである市民が積極的に路線バスを利用するとともに、バス事業者と市が連携し、利用者のニーズに応じたバス路線の維持、新設や見直しに努める。• 実施にあたっては、まちづくりと連携した路線の新設や、市内外の路線の連携及び道路環境についても配慮しながら進める。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○市民アンケートによる市民ニーズの調査○地域住民との意見 等
-------	--

取組案 5 適正な運賃改定

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 循環バスの運賃は、路線バスとの運賃格差も生じている。これらのことから、循環バスの運賃改定により受益者負担の適正化を図るとともに、市民意識の醸成により持続可能な公共交通を目指す。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○適切な受益者負担の検討○持続可能な将来計画の検討 等
-------	--

取組案 6 バス・タクシーの運転手の確保・育成

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 全国的にバス・タクシーの運転者が減少し、不足している中、本市の生活交通を支えるバス路線網の維持や、安全な移動手段の確保の観点から、バス・タクシー運転者の確保の必要性が高まっている。• 事業者による運転者の積極的な募集、育成とともに、運転者を確保するためのさらなる取組みとして、バス・タクシー事業の魅力を紹介し、バス・タクシー運転者の増加に結び付く取組みを市としても推進する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○広報誌・市ホームページでの求人募集○市施設への求人情報を掲載したチラシ等の設置○ハローワークや県と連携しての運転手募集説明会の開催○運転手のイメージアップの為の広報活動○新卒者の獲得に向けた取組支援 等
-------	--

取組案 7 EV 車輛など環境に配慮した車両の導入

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 環境に優しく利用者本位の交通体系を構築するため、まちづくり施策と連携し、人にも環境にも優しい社会の実現や高質な公共交通網の整備を行う。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○循環バスへ EV 車輛導入の検討○市内交通事業者への補助制度検討 等
-------	--

取組案 8 貨客混載の検討

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• ドライバー不足への対応、交通事業者への経営体質強化の為、交通事業者保有車両の空き時間を有効活用し、旅客収入だけではない、収益源を確保に繋がるのかを検討する。公共交通の維持に必要な市内運行事業との連携を強化する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○タクシー、バスを利用した貨客混載サービスの検討○市内飲食店や小売店からの配送サービス検討 等
-------	--

※貨客混載とは、貨物と旅客の輸送、運行を一緒に行う形態のこと。鉄道、路線バス、タクシーなどで行われる。物流の効率化や交通事業者の収益増が見込まれる。

取組案 9 ラストワンマイルの移動手段確保への取組

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 住民にとっても、移動の足が確保できないと生活の利便性が悪くなるため、ラストワンマイルの確保が欠かせない。自家用車が無くても生活出来る、生活しやすいまちづくりに向けてラストワンマイルの移動手段確保への取組を強化する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○デマンド交通の運行ルール見直し○バス停からの移動手段確保○交通結節点での乗継環境整備○パーソナルモビリティ等次世代の移動手段の検討 等
-------	---

※ラストワンマイルとは：最寄りの鉄道駅やバス停から、最終目的地である（自宅等）までの区間を指します。バス停等へどう出るのか、バス停からどう目的地に向かうのかの課題に対する取組など。

取組案 10 運賃収入以外の収入確保

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">• 持続可能な公共交通ネットワーク維持の為、運賃収入以外の収入源を確保し、市の直接負担を軽減する事を目指す。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○車輛広告収入、バス停等での広告収入○公共交通利用ガイドへ○企業・団体スポンサーの募集○公用車シェアリングサービスによる利用料収入確保 等
-------	---

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針 2 利便性の向上と利用促進の取組による地域公共交通の活性化

取組案 1 コミュニティバスの再編・運行形態の見直し等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・市内の移動性を高めるため、市民ニーズに合った効率的かつ効果的な運行となるように、循環バスのルート・ダイヤ・運行形態等を見直し、持続可能な循環バスの運行を目指す。・乗務員の体調管理や安全教育に努め、安心安全な運行を行う。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○ルートの見直し<ul style="list-style-type: none">・利用が少ない区間のルート見直し・路線バスとの競合区間の見直し・古河地区における一部のバス利用圏域外のエリアへの対応○朝夕ピーク時及び昼時間帯・土休日等のニーズに対応した再編<ul style="list-style-type: none">・効率的に運行する観点から、利用が少ない時間帯のダイヤ見直しや、平日休日での利用格差が大きいコースについては、土休日ダイヤの設定をする。○自動運転に関する情報収集に努める。○利用者数だけでなく、どのような属性の方がどのように移動しているのかを分析し、将来あるべき交通網の在り方への調査を検討。 等
-------	---

取組案 2 デマンド交通のサービス充実※運行ルールの見直し改善

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・デマンド交通の利便性を高めるために、路線バス・循環バスとの乗り継ぎポイントを見直すとともに・デマンド交通を効率的に運行するために、乗合率を高めるための方策を検討し、導入を図る。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○運行ルールの皆直し○乗合率向上促進策の実施○他交通機関との乗継向上への施策実施○WEBでの会員登録、予約への対応 等
-------	--

取組案 3 主要施設敷地内への乗り入れ

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・バス利用の利便性を高めるため、市内の主要施設において、施設側の協力を得て、敷地内に乗り入れを促進する。・敷地内に乗り入れ、バス待ち時間の抵抗の軽減を図るために、施設側の了解のもと、施設のロビー等を待合空間として活用できるよう調整するとともに、施設内にバスの時刻表を表示し、バスを利用しやすい環境を整える。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○主要施設敷地内への乗り入れ（新規・増便）○待合スペースにデジタルサイネージ設置 等
-------	---

取組案 4 ・総合的な公共交通ガイドブックの作成

事業の概要

- 公共交通が自家用車に替わる日常的な交通手段の選択肢として認識してもらうために、鉄道、路線バス、循環バス、デマンド交通、タクシー等の運行内容を網羅的に掲載した「総合公共交通マップ」の改善を行う。
- 市内の主要施設で実施している送迎サービス等の情報も併せて記載し、公共交通以外での移動方法も情報提供する。

【取組案】

- 総合公共交通マップの作成（ルート、バス停、ダイヤ、乗り方、運賃など）
- 市内主要施設へのデジタルサイネージ設置 等

取組案 5 ・バスロケーションシステムの導入拡大及びシステム利用のPR

事業の概要

- 現在、循環バスに導入しているバスロケーションシステムとともに、民間が提供している交通機関検索ソフトの紹介について、他の利用促進活動と合わせ、システムの利用方法等のPRを実施し、バス待ちのイライラ解消を図る。

【取組案】

- 路線バスへのバスロケーションシステムの導入
- バスロケーションシステムの利用PR 等

取組案 6 自動車運転免許返納者への循環バス、デマンド交通の利用券の配布

事業の概要

- 高齢者の交通事故防止及び公共交通利用者拡大の施策の一つとして、運転に不安のある高齢者には自動車運転免許証の返納を促すとともに、公共交通利用への転換を図るために、自動車運転免許証の自主返納者に対して、公共交通利用に係わる優遇措置として、循環バス・デマンド交通の利用券を配布継続する。

【取組案】

- 循環バス、デマンド交通の利用券の配布 等

取組案 7 市民の公共交通利用促進を高める取り組み

事業の概要

- 持続可能な公共交通を実現するためには、市民に公共交通を利用してもらうことが一番重要であることから、公共交通の実情に関する情報提供や市民も参画できるような各種啓発活動を実施していく。
- 「公共交通を利用しないとなくなる」という危機感を与えるために、循環バス等見直し基準を設定し、利用実績及び評価結果を公表する。

【取組案】

- 公共交通利用促進啓発活動の実施
- 循環バス等見直し基準の設定及び利用実績公表 等

取組案 8 地図情報アプリでの情報検索

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・グーグルマップ等で行先検索した際に、コミュニティバス（ぐるりん号）の時刻表や乗継を踏まえた検索を可能とし、公共交通の乗継やすさの向上を図る。市民が普段使うツールでの情報発信を強化する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○グーグルマップへの循環バス時刻表の連動 等
-------	--

取組案 9 ノンステップバスの導入促進

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・高齢者、障害者、妊婦をはじめ、誰もが快適に路線バスを利用できるよう事業者と市が連携し、ノンステップバスの導入を促進します。ノンステップバスを導入することで乗り降りの抵抗が低減され、車いす利用者などが、路線バス、循環バスで利用して移動しやすい環境を目指す。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○ノンステップバスの導入補助策の検討○導入時市民への告知 等
-------	--

※ノンステップバスとは：出入口の段差を無くして乗降性を高めた低床バスの呼称。

取組案 10 ユニバーサルデザインのタクシー車両導入促進

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・誰もが利用しやすい公共交通の実現の為、タクシー車両へのユニバーサルデザイン車輛の導入を検討する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○愛・あい号へのユニバーサルデザイン車輛導入検討○タクシー事業者への導入補助 等
-------	---

※ユニバーサルデザインとは：文化・言語・国籍や年齢・性別・能力・障害の有無などの個人の違いにかかわらず、出来るだけ多くの人々が年齢や能力、状況などにかかわらず、最初から、できるだけ多くの人々が利用可能にするデザイン。デザイン対象を障害者や高齢者に限定していない点が「バリアフリー」とは異なる。

取組案 11 古河駅のバリアフリー化、駅周辺の渋滞解消

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・市民から引き続き要望の高い、駅や主要施設でのバリアフリー化。古河駅周辺の渋滞などへ取組、安全かつ持続可能な交通環境づくりを進める。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○段差解消○市民団体と連携しての清掃活動○将来のトランジットモールの導入検討等○鉄道事業者、関係機関・団体等の連携 等
-------	---

※トランジットモールとは：中心市街地において、自動車の乗り入れ規制を実施し、徒歩と公共交通機関を優先する街づくり

取組案 12 交通系 IC カードなどの電子決済の導入及び普及促進

事業の概要

・交通系 IC カードの導入することにより、公共交通利用者の乗降時間の短縮や、高齢者、障害者が公共交通を利用する際のバリアの軽減が期待できる。また、路線バスにおいては、定時性の確保や運賃収受の自動化による、運用負荷の軽減に効果があるものと考えられます。さらには、交通系 IC カードは、複数の移動手段をシームレスに利用する MaaS と組み合わせ、公共交通の利便性を高める効果があるものと考えられます。交通系 IC カード導入の取組みを進め、公共交通の利用促進を図る。また、副次的な効果として、移動データの蓄積が進み、将来のあるべき公共交通網への分析へ活用する。

【取組案】

○交通系 IC カードや QR コード決済の導入検討 等

※MaaS とは：(マース：Mobility as a Service) とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段

取組案 13 デジタルサイネージを活用した利用促進

事業の概要

・デジタル技術を活用した掲示板を駅、公共施設、道の駅、病院等へ設置し、公共交通の利用促進を図るとともに、将来的には、デジタルサイネージでデマンドタクシーの予約や市民からの意見、要望を受けられる仕組みを検討する

【取組案】

○市内主要施設へのデジタルサイネージ設置
○他市等での先進事例の調査 等

※デジタルサイネージとは：情報通信技術を用いてターゲットに適したコンテンツを適宜表示する公衆型広告。自宅外で目にする広告用ディスプレイ。

取組案 14 AI 配車システムの運用などデジタル技術を活用した

事業の概要

・公共交通のサービスについて、利用者からは、情報提供の不足や利用方法などが分かりにくい等の理由で使いにくいという声もあることから、分かりやすい情報提供や、IoT や AI などのデジタル技術を活用した利便性の向上に努めるとともに、関係者が連携して利用促進に取組を推進する。

【具体的事業内容】

○AI 配車によるデマンドタクシーの配車
○一つの交通手段に頼らない乗継サービス 古河市番 MaaS の検討 等

【基本方針に基づく取組施策案】

○方針3 関係者・市民協働によるまちづくりと一体となった公共交通の構築

取組案1 交通結節点及び主要バス停の待合環境の整備

事業の概要

- ・バス待ち時間の利便性向上を図るため、古河駅及び各庁舎や諸川等交通結節点や利用者の多い主要なバス停において、バス停周辺の公共施設、商業施設等民間施設の活用・協力を図りながら、待合環境（上屋、ベンチの設置等）の整備を推進する。

【取組案】

- 交通結節点及び利用者の多い主要なバス停における待合環境の整備 等

取組案2 サイクル&バスライド、パーク&ライドの促進

事業の概要

- ・古河市は比較平坦な地形であることから、バス停から遠いエリアからの自転車でのアクセス性を高め、バス利用需要の拡大を図るために、利用が多い主要なバス停周辺の施設等の協力のもと、サイクル&バスライド用駐輪場の整備を実施する。
- ・サイクル&バスライド用駐輪場の整備推進とともに、市内の回遊等のバスと自転車を活用した移動支援として、他都市の導入効果等を考慮しながら、自転車搭載バスの導入について検討する。
- ・庁舎等交通結節点において、他手段からのバスへの乗換え利便性を高めるために、既に設置されている三和庁舎の駐車場・駐輪場の活用のためのPR活動を推進するとともに、他の交通結節点においては周辺施設の協力によりパーク&ライド用駐車場の確保を促進する。

【取組案】

- サイクル&バスライド用駐輪場の整備
- 自転車搭載バスの導入検討
- パーク&ライド用駐車場の確保の促進 等

取組案3 外出支援のためのモデルルートの提供（乗継例など）

事業の概要

- ・高齢者や公共交通に乗り慣れていない市民に対し、公共交通を利用して安心かつ抵抗なく目的地に移動できるよう、公共交通を利用した外出行動のモデルルートを作成・配布し、需要の掘り起こしを図る。
- ・パソコンやスマートフォンでルート検索するのが苦手な方のために、利用したい停留所と時刻表を記載した「マイ時刻表」を提供し、利用者の増を図る。

【取組案】

- 外出の移動モデルプログラムの作成・配布
- マイ時刻表の作成
- 文字情報だけではなく、イラストなどを活用した利用促進 等

取組案 4 ・バスの乗り方教室の実施

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・将来の利用者となる子どもたちや、バスを利用したいがバスの乗り方等がよくわからないといった高齢者に公共交通であるバスに親しんでもらい、バスへの理解と関心を高めるとともに、交通安全への理解を図るため、バスの乗り方教室を実施する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○子どもや高齢者を対象としたバスの乗り方教室の実施 等
-------	--

取組案 5 ・バス、乗合タクシーの乗車体験会開催

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・マイカーから公共交通への自発的な転換を促すイベントを開催し、交通ネットワークの維持や環境負荷の低減を図る。「乗車体験会」を開催。日常生活における移動手段として公共交通を活用するきっかけとなるような取組みを検討する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○無料体験乗車券の配布○バス、デマンドタクシー体験乗車会開催 等
-------	---

取組案 6 福祉施策との連携（すみわけ）

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・現在、市では、高齢者福祉・障害者福祉の観点から、高齢者通院等交通費助成、障害者福祉タクシー利用料金助成により、移動支援を行っている。・公共交通施策と福祉施策においては、需要者が重なる部分もあることから、公共交通施策との棲み分けを意識しつつ、両方の施策分野が連携した取り組みを進める。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○福祉施策との棲み分けの協議・連携 等
-------	--

取組案 7 ・地域の多様な輸送資源を活用する取組の検討（企業バス・スクールバス）

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・既存のバス路線では行き届かない移動ニーズを満たすため、また、新たな公共交通の導入が難しい新規交通 検討地域において地域旅客運送サービスを確保するため、地域公共交通活性化再生法の輸送資源を総動員する 考え方に基づき、市内の多様な輸送資源（スクールバス、福祉輸送、企業の送迎バス、医療機関のシャトルバス等）を活用する取組みを検討する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○将来に向けての多様な輸送資源活用の調査検討 等
-------	--

取組案 8 デジタルデバイドの解消

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・取り残させる方を一人でも少なくするために、高齢者のスマホ普及率の向上など、提供側のデジタル化、効率化だけではなく、市民目線にたった取組を推進する。 <p>【具体的事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○高齢者向けスマホ教室の開催○デジタルコンシェルジュの配置・相談会開催○公共交通以外の施策との連携 等
-------	--

取組案 9 ・自動運転や MaaS などの「交通 DX」将来の在り方の検討開始

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・市民の公共交通の利用状況やニーズを踏まえ、本市における持続可能な交通ネットワークの形成に向け、次世代モビリティの導入の可能性を検討しながら、デジタル技術を活用した本市に合った、MaaS のあり方を検討 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○AI 技術、自動運転技術の動向調査○複数の移動手段を活用した○移動だけではなく、移動先での行動での連動（買物・医療機関等） 等
-------	--

取組案 10 ドライバー、関係者のホスピタリティ向上

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・本年 8 月の市民調査からも、ドライバーへのマナー指摘があるのも事実であり、より市民に満足いただける公共交通を目指す。 <p>【具体的事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none">○ドライバー、関係者向け研修の実施○障害者、高齢者目線の体験会実施 等
-------	---

取組案 11 シルバーサポーター制度の導入

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・高齢者に分かりやすく公共交通の利用の仕方を伝え、その利用をサポートする人材を配置する。実施にあたっては、民生員の方等の連携を想定する。 <p>【取組案】</p> <ul style="list-style-type: none">○民生員や地域の自治会向け、公共交通説明会の実施○簡潔に分かりやすく情報を絞り込んだ公共交通案内の実施○シルバーサポーター向け体験乗車会の開催 等
-------	--

取組案 12 公用車のシェアリングサービス

事業の概要

- 市が保有する公用車を市民に貸し出し、マイカーを持たない生活環境を構築する。将来 EV 車輛での実施を検討し、域社会の脱炭素化に貢献するだけでなく地域交通の充実や災害対策につなげると取組を目指す。

【取組案】

- 土日に公用車シェアリングサービスの実施 等